

移^い動^{どう}市^し長^{ちやう}室^{しつ}

筑紫野市スポーツ推進委員会

—スポーツを通じて、人と人をつなぐ—

通算80回目となる移動市長室を、5月23日(水)に開催しました。筑紫野市スポーツ推進委員会と懇談を行い、22人の出席がありました。

●問い合わせ先 秘書広報課



スポーツ推進委員会とは？

校区(地区)体育振興会や関係団体からの推薦を受け、市教育委員会が委嘱した25人(平成30年5月現在)のスポーツ推進委員は、生涯スポーツの視野に立ち、スポーツ推進事業の連絡・調整などを行うコーディネーターとして活動をしています。推進委員によって組織される委員会は、相互の連絡調整や資質向上を図り、スポーツ振興に寄与することを目的にしています。

懇談では、推進委員の役割や主な活動内容、今後の活動方針についての報告を受け、意見交換を行いました。



今までとこれから

昭和36年スポーツ振興法の制定により体育指導委員が設けられ、昭和37年に筑紫野市体育指導委員を設置、主に実技の指導・助言を行っていたこと、その後、平成23年スポーツ基本法の制定によって体育指導委員からスポーツ推進委員へと名称変更、以降は、従来の役割に加え、スポーツの推進のためスポーツイベントの企画運営から地域や関係団体および行政との連絡調整が重要視されるようになったことの紹介がありました。

スポーツイベントで活躍中！

主な活動として、小学校区ごとに推進委員が企画運営の中心となり自治会や体育振興会と連携しながら運動会形式またはスポーツフェスタ形式で市民体育祭を実施していること、スポレクフェスタと同時開催で毎年実施しているベタンク大会は今年で13回を迎えること、スポーツ参加人口の拡大を図る



ドッチビーなどニュースポーツの紹介がありました

目的でニュースポーツを展開していること、また、筑紫野市民水泳大会、天拝山ロードレース大会、筑紫野市駅伝大会、宝満つばきマラソン大会といった市などの事業へ協力をしていることの報告がありました。

団体支援や地域交流

派遣事業として、小学校のスポーツテスト支援や老人クラブなど団体の講習会や大会に参加していること、市民体育祭とは別に小学校区で地域独自に自治会や体育振興会との共同開催によるスポーツに関するイベントに携わり地域交流を推進していることなどの説明がありました。

運動習慣の確立

これから力を入れていきたい今後の活動方針を聞き、議論を深めました。

週1回以上スポーツを実施している成人の割合は年々増加傾向ですが、世代別にみると20～40代の働き盛りの世代では低くなっており、その要因として仕事、家事、子育てで忙しく時間が取れない、きっかけがないなどの調査結果があります。こうした現状から、各自のライフスタイルやライフステージにあった内容で、身近な場所、身近なスポーツを提供することが必要であり、スポーツ未実施者や中高年層へ働

きかけていきたいと考えています。

いつでも、どこでも、誰にでも

そのための仕掛けの一つでもある「いきいきニュースポーツ広場」は、平成26年度から市内小学校で順番に開催しています。ニュースポーツは、競争原理が強く働くスポーツとは違い、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として誰でも気軽に楽しむことを目的とした身体運動です。年代や障がいのある人など、さまざまな環境に応じて適した種目があり、例えばソフトバレーボールやアジャタ（スポーツ玉入れ）、

ドッジビー（ドッジボールのボールを柔らかいディスクに置き換えた競技）、卓球バレーなど、いろいろなスポーツが形を変えています。誰にでも楽しみながらできるニュースポーツの普及を目指しています。

地域に根ざした活動を

このような活動を担う推進委員の認知度をより一層向上していくため、黄緑色の目立つユニフォームを着用しながら、地域の実情に合ったニーズの把握、地域の関係者や組織同士の連携、また、イベントの企画立案の段階からの関わりなどを積み重ねていくことで、その存在と役割を市民に知ってもらう

藤田市長の一言

私もいろいろと地域を回る機会があります。地域密着型の活動をまず自分がやっていращやる方ばかりで、皆さんの顔はよくお見かけしますし、頑張っている感じがする、という実感があります。

スポーツを通して健康寿命の延伸や子どもたちの健全育成をはじめとした地域づくりをしていただいており、活動に対する皆さんの意気込みが伝わってまいりました。ひかり輝

たいとの報告がありました。

出席者からはさまざまな発言があり、交流をすることができました。懇談の中での意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

・スポーツ推進委員の活動について、市長にお伝えできました。市民の皆さんにPRできる機会に、また、各委員の意識が変わるきっかけにもなったと思います。今日は本当に感激しました。市長の言葉をいただいて、やりがいが出てきました。これからますます頑張りたいと思います。

く筑紫野市づくりへの大いなる力となる活動だと感じました。本当に今日はどうもありがとうございました。

